

## 補助事業概要の広報資料

補助事業番号 24-1-141  
補助事業名 平成 24 年度 国民・消費者の安全・安心な社会を作る活動補助事業  
補助事業者名 一般財団法人 全国消防協会

### 1. 補助事業の概要

#### (1) 事業の目的

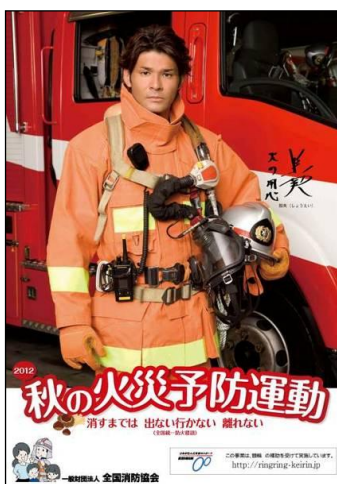
本協会は定款に基づいて市町村における防災体制の強化促進のための各種事業を行なっている。事業の一環として火災予防運動用ポスター及び救急車適正利用 PR ポスターを作成し、全国の消防本部を通じて公共施設等に配付している。一般住民の防火防災思想の高揚及び救急車の適正利用を呼び掛け、もって公益の増進に寄与する。

#### (2) 実施内容

ア 火災予防運動用ポスター及び救急車適正利用 PR ポスターの作成

イ 秋季(平成 24 年秋 1 週間)、春季(平成 25 年春 1 週間)の火災予防運動及び救急の日(9 月 9 日)に際しポスター各 111,000 枚を各消防本部に配付している。

ウ 全国の消防本部は、当該区域内の公共施設等に配付掲示している。



## 2. 予想される事業実施効果

毎年、秋と春に行われる全国的な火災予防運動及び救急の日に際し、全国 791 消防本部に対し、本事業で作成した火災予防運動用ポスター及び救急車適正利用 PR ポスターを配付し、全国の消防本部及び地域の公共施設等に掲示している。多数の人が集まる公共施設等に掲示することにより、住民の目に訴え、各消防本部等が実施する火災予防運動及び救急の日の各種行事に相乗して火災予防の重要性並びに救急車の適正利用の啓発に資することができる。

また、消防本部からポスターの追加希望等もあり、より効果が期待できる。

## 3. 本事業により作成した印刷物

秋の火災予防運動用ポスター	111,000 枚	
春の火災予防運動用ポスター	111,000 枚	
救急車適正利用 PR ポスター	111,000 枚	計 333,000 枚

## 4. 事業内容についての問い合わせ先

団体名 : 一般財団法人 全国消防協会  
住所 : 102-8119  
東京都千代田区麹町 1-6-2 アーバンネット麹町ビル  
代表者 : 会長 北村吉男 (キタムラ ヨシオ)  
担当部署 : 財務課  
担当者名 : 課長補佐 針谷 浩三 (ハリガヤ コウゾウ)  
電話番号 : 03-3234-1321  
F A X : 03-3234-1847  
E-mail : ffaj@ffaj-shobo.or.jp  
U R L : <http://www.ffaj-shobo.or.jp/poster/index.html>

広報用ポスターの作成事業の効果について（24-1-141）

本協会は、国民生活の安心安全の向上と地域社会の発展に貢献することにより社会公共の福祉の増進を目的としており、「防火防災思想の普及広報に関する事業」は、その主要事業として強力に推進している。

- 1 「防火防災思想の普及広報に関する事業」は、昭和41年から長年にわたり継続しており、毎年秋・春の全国火災予防運動にあわせ、火災予防運動用ポスター（各時期111,000枚、計222,000枚）を作成し、全国の消防本部を通じ公共施設等に掲示し、防火防災思想の普及・啓発を図ってきている。このポスターは、全国統一のポスターとして掲示することで、一般住民の目に止まりやすく、費用対効果もあげられてきている。

（過去に作成した火災予防運動用ポスター）

24年度      23年度      22年度      21年度      20年度  
 (秋)



(春)



- 2 近年の少子高齢化を反映し、救急車の出場件数が年々増加傾向にあり、真に救急車を必要としている緊急患者へ適切な対応策として、平成20年から救急の日（9月9日）にあわせ救急車適正利用PRポスター（111,000枚）を作成し、全国の消防本部を通じ公共施設等に掲示することにより、一般住民に救急車の適正な利用について理解協力を呼び掛けている。

24年度      23年度      22年度      21年度      20年度



### 3 本事業の効果

- (1) 火災予防のポスターの作成は、昭和41年から47年間毎年実施しており、非常に長い歴史を持ち、継続化している。長い期間実施してきたことにより、火災の発生件数も年々減少傾向を示し、秋・春の火災予防運動が国民に定着するとともに、その効果も現れてきている。このことから運動期間に掲出する全国統一の火災予防運動用ポスターの効果は大であり、今後も継続して実施することが、防火防災思想の普及・啓発に役立つものである。

(火災件数の推移)

(単位：件)

19年	20年	21年	22年	23年
54,582	52,394	51,139	46,620	50,006
対前年増減	△2,188	△1,255	△4,519	3,386

- (2) 近年の高齢化社会を反映して、救急車の出動件数が年々増加しており、真に救急車を必要とする重症患者等への対応が求められることから、平成20年度より救急車適正利用PRポスターを作成し、全国の消防本部を通じて広く地域住民に救急車の適正利用方法について呼び掛けてきた。この結果、救急車の搬送人員に占める軽傷者の割合が平成20年は大きく減少し、その後も減少傾向にある。

救急車適正利用PRポスターを掲示することにより、地域住民が理解を示し、救急車の適正利用の効果が大きい上がったものである。

(救急搬送人員と軽傷者の割合)

(単位：人)

	19年	20年	21年	22年	23年
全体	4,902,753	4,678,636	4,682,991	4,978,706	5,178,862
軽傷	2,534,272	2,378,495	2,375,931	2,507,560	2,612,920
割合	51.7%	50.8%	50.7%	50.4%	50.4%